



2019. 9. 1

9月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸 YMCA ちとせ幼稚園

最高気温が30℃以上の日を真夏日、35℃以上の日を猛暑日と言うそうです。この夏はずっと猛暑日だったに違いない！と思って神戸市須磨区の気温統計をネット検索すると（最近は本当に便利）、8月1日から22日の間、殆どは真夏日で、35℃以上の猛暑日は計3日だけで、ちょっと意外でした。

でも、お盆明から夏期保育が始まる前日まで、本当に暑かった。夏休みプレイクラブも、午前中は保育室で過ごし、プールに入ってから昼食、その後は午睡か保育室で…という過ごし方が多く、外で遊ぶのは3時を過ぎてから。日中に外で遊ぶのが危険な感じさえしました。

来年の東京オリンピックが心配になります。マラソンや競歩は、深夜にするとか、コース全部に日除けエアコンを置く必要があるんじゃないか？とか。

そして気象条件とは別の要因として、特に米国で人気がある種目は米国での視聴に合わせて競技スケジュールが組まれるとか。

1984年のロサンゼルス大会を機に、オリンピックは「儲かる」スポーツイベントになりました。それまでは、スポーツ、特にアマチュアスポーツは「お金がかかる」のが当たり前で、オリンピックも、様々な団体の加盟料、篤志家や企業の寄付、そして大部分は開催国の税金で賄われていました。ロサンゼルス大会が、税金を使わずに、オリンピックだけで巨額の黒字を産みだした要因は、テレビ放映権料とそれに関連するCMスポンサー料だと言われています。

参加する選手の多くは、今回が生涯一度の舞台でしょうから、会場などの環境だけでなく、最高のパフォーマンスを発揮できるよう、生活リズムにあった競技時間にすべきだと思いますが、興行利益が優先されるのでしょうか。選手村は日本に在りながら米国時間で生活するのかもしれませんが、日本で開催されるけれど、私たちが寝ている時間に競技が行われるとか？経済は我々の生活を支える重要な要素ですが、「お金」だけが全てではありません。競技スケジュールの変更も、平和を目的としたスポーツの祭典という使命を見失わずに、信念をもって判断されるべきだろうと思います。

幼児教育・保育は10月から無償化されます。給食や送迎バス、預かり保育、用品や上乗せ徴収費など、今後もしも負担いただくものがありますが、保育料は無償になります。あまりにも「経済」が優先されると、無償で提供される教育・保育の内容が追求されず、その他のサービスと費用だけがクローズアップされ比較され、それで就園先が選択されていく…そんなことにならないようにと願っています。

年主題 『ことばに満たされて ～ひびきあう～』

<年主題聖句> 「その人は流れのほとりに植えられた木」 (詩編1編3節)

9月主題 『いっしょに』

<聖句> 「御言葉を行う人になりなさい。」 (ヤコブの手紙1章22節)